

令和6年能登半島地震 被災宅地地盤相談窓口を開設します

この度の令和6年能登半島地震を受け、被災宅地地盤相談窓口を開設することといたしました。相談窓口では、被災した宅地地盤や擁壁の損壊などに関する技術的な疑問・相談に専門家が無料で応じます。

つきましては、広報にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

開設日 : 令和6年3月 9日(土)、3月12日(火)
3月23日(土)、3月26日(火) の4日間

時間 : 午前9時00分 から 午後5時00分 まで

会場 : 西総合スポーツセンター

(新潟市西区五十嵐1の町6368番地48)

相談員 : 公益社団法人地盤工学会北陸支部より派遣された専門家

相談窓口に関するお問合せ : 公益社団法人地盤工学会北陸支部

(メール : jgskoshi@piano.ocn.ne.jp)

- ・工事業者のご紹介と現地調査には対応するものではありません。
- ・図面や被害状況の写真などがあればお持ちください。
- ・多くの相談者が来られた場合、時間制限を設けさせていただくことがあります。

(地盤工学会お問合せ先)

公益社団法人地盤工学会北陸支部 担当 : 西本

電話 : 025-281-2125 F A X : 025-281-2125

メール : jgskoshi@piano.ocn.ne.jp

【お問合せ】

新潟市都市政策部まちづくり推進課 担当 : 横田 樋口 岡

電話 : 025-226-2700 (直通) F A X : 025-229-5150

メール : machisui@city.niigata.lg.jp

令和6年能登半島地震で宅地を被災された皆様へ

被災宅地地盤相談窓口のご案内

被災した宅地地盤や擁壁の修理の方法等に関する技術的な相談に、
専門家が無料で応じます。

会場説明希望の方は、下記期日で会場にお越しください。

メール相談希望の方は、下記メールにて受付いたします。

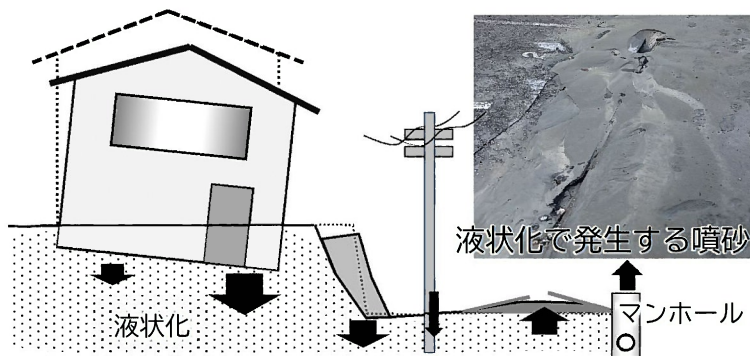
- 期 日 3月9日(土)、12日(火)、23日(土)、26日(火)
- 時 間 午前9時 ~ 午後5時
- 会 場 西総合スポーツセンター（西区五十嵐1の町 6368-48）
- 相 談 員 （公社）地盤工学会北陸支部より派遣の専門家
- 相談窓口に関するお問い合わせ （公社）地盤工学会北陸支部
メールアドレス jgskoshi@piano.ocn.ne.jp

- ・工事業者のご紹介と現地調査には対応しておりません。
- ・図面や被害状況の写真があれば、お持ちください。
- ・多くのご相談者が来られた場合、時間制限を設けさせていただきます。

【担当】

新潟市都市政策部まちづくり推進課：025-226-2700

液状化とは 液状化は、大きな地震の振動で、砂地盤の砂が、地下水と合わさって泥水となり、建物が重さで沈んだり、地下の軽いものが浮いたり、地上に噴砂が発生する現象です。昭和39年の



新潟地震でも大きな被害が発生しています。平成23年東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年北海道胆振東部地震でも液状化被害が大規模に発生しています。

ご心配事ありますか? 「今回自宅は液状化しているのか」「また地震がきたら液状化するのか」「液状化しない対策はどのようなものがあるのか」「土留めが崩れてしまったが修繕方法を知りたい」等、ご自宅の様子からご心配事にお答えします。

ご相談の前に、ご自宅の様子をご確認ください

次の「□」に当てはまる所にチェックを付けてください

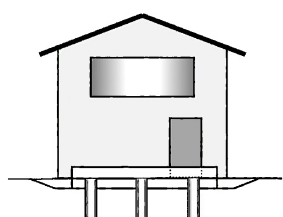
- 建物が傾く
- 建物と周辺道路等と段差ができる
- 上下水道管が外れる
- 建物周辺が隆起したように外構が壊れる
- 土留めが崩壊する
- これら以外は下の空欄に記載下さい

↓具体的なことや、内容やその他のことをご記載ください

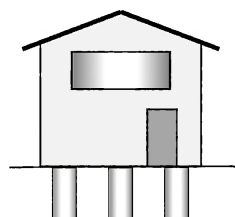
ご注意! 液状化災害時は次のような事例がありますのでご注意ください。

- ・基礎の修繕工事を業者に依頼したが、高額な見積額で補助金申請を行い後日返納命令があった。
- ・擁壁の補修で建築基準法違反の施工が行われた。(高さ2m以上の鉄筋なしのコンクリート擁壁等)

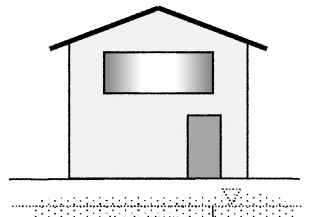
液状化対策の例 杭等で支持させる工法や非液状化層を厚くする工法があります。



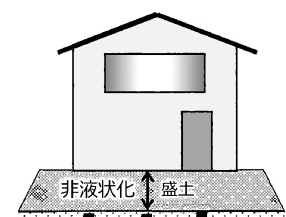
杭基礎 (今ある建物でも施工可能な工法があります)



地盤改良(建物下) 建替え必要



地下水位低下



盛土(建替え必要)